

令和4年度第4回 地域密着型サービス運営推進会議

報告書

- 1 近況報告別添1
 - (1) 入居状況
 - (2) 活動報告
 - (3) 事故報告
 - (4) ヒヤリはっと報告
 - (5) 身体拘束適正化・虐待防止に向けた取り組みについて
 - (6) 苦情報告

- 2 新型コロナウイルス感染症対策について別添1
 - (1) ご利用者様、ご家族様向けの対応
 - (2) ワクチン接種情報

- 3 職員向け所内研修別添1

- 4 質疑応答別添2

1 近況報告

(1) 入居状況（令和4年10月末日現在）

18名入居中（ヒガシヤ9名、ニシヤ9名）

性別：男性4名、女性14名

平均年齢：男性86歳、女性87.4歳

平均介護度：2.0

待機者数：7名

■要介護度別

要介護度	人数
要支援1	0名
要支援2	0名
要介護1	6名
要介護2	6名
要介護3	6名
要介護4	0名
要介護5	0名
合計	18名

■年齢別利用者数

年齢層	人数
65歳未満	0名
65～69歳	0名
70～74歳	1名
75～79歳	1名
80～84歳	3名
85～89歳	7名
90歳以上	6名
合計	18名

■日常生活自立度別

日常生活自立度	人数
自立～I	0名
IIa	2名
IIb	3名
IIIa	4名
IIIb	3名
IV	3名
M	3名
合計	18名

(2) 活動報告

毎日の役割（出来ることの継続）に努めています。

ドライブに出掛け気分転換したり、誕生会をしたり、趣味を楽しんだりしています。

(3) 事故報告（令和4年10月末日現在、単位：件）

事故内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
1 転倒・尻もち	5	6	6	7	9	3	5						41
2 転落・ザリ落ち	3	5	1	0	0	0	1						10
3 打撲	0	0	0	0	0	0	0						0
4 誤嚥	0	0	1	0	0	0	0						1
5 離脱	0	2	2	2	2	1	0						9
6 誤薬・薬	2	3	2	2	0	3	1						13
7 爪切り	1	0	0	0	0	0	0						1
8 漂白剤の相違	0	0	1	0	0	0	0						1
9 表皮剥離	0	0	0	1	1	0	0						2
10 義歯がゴミ箱	0	0	0	1	0	0	0						1
11 切傷	0	0	0	0	1	0	0						1
合計	11	16	13	13	13	7	7						80

*離設：ちょっとした隙に外に出ておられる。原因として帰宅願望はもちろんですが、「ちょっとそこまで」と言われることが多い。

*薬：渡していた薬をポケットに入れておられたり、点眼薬の袋が中身と違っていたり、薬の空袋を口にされたりしておられる。

*転倒・尻餅：日中車椅子の利用者が夜になると活動的になられ、つかまり立ちされた後に歩行されて尻餅をつかれるケース。事故、ひやりとも同じ人が多い。

(4) ヒヤリはっと報告（令和4年10月末日現在、単位：件）

事故内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 転倒・尻もち	0	0	5	1	0	0	0						6
2 転落・ずり落ち	0	1	2	1	0	3	0						7
3 打撲	0	0	0	0	0	0	0						0
4 誤嚥	0	0	0	0	0	0	0						0
5 離設	0	0	1	2	1	0	1						5
6 誤薬・薬	0	2	2	2	2	1	1						10
7 お茶がこぼれた	1	1	0	0	0	0	0						2
8 手すりを超える	1	0	0	0	0	0	0						1
9 排泄	2	0	0	0	1	0	0						3
10 車椅子等ブレーキ	0	1	0	1	0	0	0						2
11 家具の移動	0	2	0	0	0	0	0						2
12 手洗い・口腔	0	2	1	0	0	0	0						3
13 鍵の開閉	0	1	2	0	0	0	0						3
14 空調スイッチ	0	1	0	0	0	0	0						1
15 異食	0	0	3	0	1	1	1						6
16 画紙	0	0	0	1	0	0	0						1
17 衣服	0	0	0	1	0	0	0						1
18 網戸にぶつかる	0	0	0	1	0	0	0						1
19 段差	0	0	0	1	0	0	0						1
20 ふらつき・歩行	0	0	0	2	1	1	0						4
21 寝具のからまる	0	0	0	0	1	0	0						1
22 ハンドソープの咽	0	0	0	0	0	1	0						1
23 椅子に登りかける	0	0	0	0	0	1	0						1
合計	4	11	16	13	7	7	4						62

*ヒヤリ・ハットにつきましては、内容が増えつつあります。大きな事故に繋がらないようにヒヤリの目を大切にしていきたいと思います。

(5) 身体拘束適正化・虐待防止に向けた取り組みについて
身体拘束及び虐待行為はありません。日々の業務の中で確認し合っています

(6) 苦情報告

ア 件数

1件

イ 内容

ご家族様より「職員の電話対応が悪い」という苦情がありました。

ウ 対応

ご家族様との話し合いをもとに、苦情内容の事実確認を行い謝罪しました。

2 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) ご利用者様、ご家族様向けの対応

規制緩和を少し行い対応しています。規制緩和策が少しでも長く続きますことを祈らずにはられません。

ア 面会

電話での予約制とし、15分間の面会を緩和しています。(マスク着用・飲食禁止)
オンライン面会は随時行っています。

イ 外出及び外泊

外泊については禁止しています。

ケアの一環として(郵便局まで手紙を出しに行く等)の外出を行なっています。

ウ 受診対応

緊急性を伴わない受診は延期しています。

(2) コロナワクチン接種情報

第5回目の巡回集団ワクチン接種を、12月20日(火)に予定しています。

3 職員向け所内研修

事業所での3密を避けるため、中止としました。

4 質疑応答

- (1) 将来的には人材不足が避けられない情勢になっていると思いますが、人材確保についての工夫をされておられるでしょうか？今後外国人労働者の採用など考えておられるでしょうか？

ご質問のとおり、現在も今後も人材確保については一番の課題であると考えております。今の状況でいきますと、当事業所を副業先(ダブルワーク)として勤務(夜勤専従)できる方を採用しており、見習い期間を設けています。外国人労働者も、今後長期的には必要だと考えますが、介護技術より認知症の方とのコミュニケーションが大きな課題です。「その人なり」の理解が難しいと考えられ、ご利用者様に理解が得られるのかを心配していましたが、先日、他事業所の方の話を伺う機会があり、「内容の理解は難しいが、そばで相槌を打ちながら聞いてくれる人がいることで安心に繋がって穏やかに過ごされる」とのことでした。まさに「論より証拠」でした。現在の雇用形態の中で外国人労働者を指導する時間をどう捻出するのか、言葉の言語化(外国語の変換)をどうするのかを考え検討していきたいと思っております。

- (2) ヒヤリはっと報告の中の「異食」の内容を教えてください。

- ・9月:介護度2のご利用者様、何かをずっと噛んでおられる様子があり、口の中の物を確認すると「白い繊維」状のものが出てきました。ポリエステル状の軟らかいものでしたが、どこからの口にされたのかその経緯は確認できませんでした。
- ・10月:介護度2のご利用者様、ガムを噛むように口の中を動かしながら廊下を歩いておられ、確認すると「白い硬いもの」が出てきましたが、確認は難しかったです。

- (3) 「コロナに係る受診対応」について、緊急性を伴わない受診は延期とありますが、最長でどのくらい受診を延期していらっしゃいますか？また、緊急性を伴わない判断基準があれば教えてください。

かかりつけ医に連絡相談を基本としており、受診延期は最長で3カ月程度です。判断基準は、すべて「医師の判断」です。

- (4) 中止された職員向けの研修の内容を教えてください。研修を中止された場合、資料の回覧等は行っておられますか。

今年度の研修は、研修計画にそって、ガイドライン及びマニュアルを見直すことを主眼におき、資料もそのまま使用しています。研修講師も職員が交代で勤めています。研修で使用した資料(中止の場合も含む)は、回覧ファイルに綴って職員に周知しております。

9月:プライバシー保護に関する研修(日常におけるプライバシー保護について)

9月:倫理・法令遵守に関する研修(利用者の権利擁護指針)

10月:事故発生時の対応に関する研修